

2022年度 クリニカルラダー別 院内研修一覧

| No | 日付 | 研修項目 | 研修内容 | 研修目標 | レベル | | | | 評価 | |
|----|--------------|-------------------|--|--|-----|----|-----|-----|----|------|
| | | | | | I | II | III | IV | | |
| 1 | 4/9 4/12 | 看護管理 | 病院看護師が行う在宅療養支援と看護記録 | ・地域包括ケアシステムにおける病院看護師の役割を理解し実践での力をつける | | I | II | III | IV | 研修参加 |
| 2 | 5/14 5/17 | 看護管理 | 社会の変化とこれからの医療ニーズから今後の看護のあり方を考える | ・社会的な変化が医療業界に与える影響を知り看護師に求められる能力を認識し看護実践に生かすことができる。 | | I | II | III | IV | 研修参加 |
| 3 | 6/11 6/14 | 看護倫理① | ・看護倫理問題を解決するために必要な知識 | ・看護倫理問題を解決するために必要な基礎的知識と思考プロセスを学び倫理的視点で意思を尊重してケアを実践する能力を身に付ける | 0 | I | II | | | 研修参加 |
| 4 | | 看護倫理② | ・レポート提出 | ・現場での看護倫理問題を抽出し自身の表現で文章化することができる ・看護実践の場で倫理的問題や課題をどのように受け止めているか明確にする ・問題や課題から、既存の仕組みやルールを見直す提案ができる | | | | III | IV | レポート |
| 5 | | 認知症高齢者の看護実践に必要な看護 | ・認知症ケア加算2に関わる研修 ・認知症高齢者への看護 | ・国の政策や現状を理解するとともに、認知症高齢者を適切にケアするための基本的知識を見直し、実践に活かすことができる | | I | II | III | IV | 研修参加 |
| 6 | | 退院支援 | ・病院看護師が行う在宅療養と看護記録 | ・地域包括ケアシステムにおける病院・看護の役割を理解する | | | II | III | IV | 研修参加 |
| 7 | | 医療・看護必要度研修 | ・看護必要度の評価の目的を理解する ・看護必要度の正しい評価方法を知る ・看護記録記載時の注意事項 ・改定項目 | ・正しい評価方法を身に付ける ・必要度と記録の関係を理解する ・改定項目を知る | 0 | I | II | III | IV | 研修参加 |
| 8 | | JNA ラダー導入に向けて | ・JNA ラダー導入に向けての説明会 | ・JNA ラダーの活用方法 ・JNA ラダー評価基準の理解 ・自己の課題を見出す | 0 | I | II | III | IV | |
| 9 | | 褥瘡 | ・今日から実践できる褥瘡ケア | ・褥瘡予防や褥瘡発見時のケアを実践するために、褥瘡発生メカニズムを理解しスキンケアや褥瘡評価の知識と技術を習得する ・DESIGN-Rの評価を習得 | | I | II | III | IV | 研修参加 |
| 10 | | リーダーシップ研修 | ・看護チームにおけるリーダーシップ | ・リーダーとして求められる知識、技術、態度を習得する ・問題を明確に捉える能力を養い解決策を見出すことができる ・リーダーシップの理論を学び看護に活かす | | | II | III | | 研修参加 |
| 11 | | 災害看護 | ・災害における初期医療支援活動 | ・災害に関する基礎的事項、災害発生時の対応について知り、災害看護に必要な知識・技術を習得する | | I | II | III | IV | 研修参加 |
| 12 | | 感染管理 | ・感染管理の基礎知識 ・組織で取り組む感染管理 | ・感染管理に必要な知識を学び感染管理意識を高める ・組織的な感染管理に取り組むために必要な知識を習得する | | I | II | III | IV | 研修参加 |
| 13 | | 医療安全① | ・医療安全の基礎と医療事故防止行動 | ・医療安全の基本的な考え方を学び医療事故防止行動を理解する ・医療安全の視点でマネジメントができる | 0 | I | II | | | 研修参加 |
| 14 | | 医療安全② | ・管理者のためのリスクマネジメント | ・医療事故防止及び医療事故発生後の対応策の実際についてリスクマネジメントの考え方を学び看護職の法的責任・役割を理解する | | | | III | IV | 研修参加 |
| 15 | | 意思決定支援 | より良い意思決定に向けたナッジの活用 | ・意思決定能力の判断基準とアセスメントができる | 0 | I | II | | | |
| 16 | | 救急看護 | ・一時救命処置を学ぶ | ・一時救命処置技術を習得する ①心肺蘇生法が確実に実施できる ②AEDを安全に使用できる ③チームでCPRを行うことができる ④急変時に慌てないで行動できる | 0 | I | II | | | 研修参加 |